

保健体育科（保健）学習指導案

1 単元名 「がんと健康」

2 単元について

(1) 題材観

高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説保健体育編において、保健の内容にがんの取り扱いについて新しく示され、本県の令和 2 年度版学校教育における指導の努力点においても、喫煙・飲酒・薬物乱用防止や性に関する指導と同様に、がん教育についても指導の工夫・改善を図るよう明記された。文部科学省をはじめとする教育機関や関連団体が教材の研究・開発を進め、普及啓発活動が全国的に広がりを見せるなど、その重要性は加速度的に増している。

「がんは、万が一じゃなく二分の一」というキャッチコピーが生まれる現代、国民病とも呼ばれるほど身近な病気である「がん」についての授業は、生徒に「他人事ではなく自分事」と捉えさせ、自ら学ぶ意欲を喚起するために有益適切な題材であると考ええる。

(2) 指導観

学校におけるがん教育の在り方についての報告（平成 27 年 3 月）によると、がん教育の目標は、「①がんについて正しく理解することができるようにする」「②健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする」と掲げられている。

がんの種類と経過・治療については、漫画や YouTube 動画を用いることで正しく理解できるよう工夫する。がんの要因と予防については、『がんを防ぐための新 12 か条ハンドブック』を活用し、がんの発生リスクと生徒の実生活とを重ね合わせることで、現在そして将来の生活習慣について主体的な改善を図るための第一歩としたい。また、若年世代に多いがんの事例を取り上げることで、より近い存在であると気付かせ、外部講師と協力した取り組みから定期検診・早期発見の大切さ、緩和ケアについて強く伝えていく。

3 単元の目標

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
<ul style="list-style-type: none"> がんの予防と回復、がんと共生について、理解することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、がんのリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> がんの予防と回復、がんと共生についての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①がんのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することについて、理解したことを発言したり記述したりしている。</p> <p>②がんの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを発言したり記述したりしている。</p>	<p>①がんの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。</p> <p>②がんとの共生の中で、自分なりの価値観に基づいた「幸せ」と「健康」について、考えを深めたりワークシートにまとめたりしている。</p>	<p>①がんの予防と回復、がんとの共生について、自分事と捉え、課題の発見及び解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

5 指導と評価の計画（全2時）

時	学習内容	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1	がんの発生と予防	・がんの現状、がんの種類や発生及び要因について理解する。早期発見や予防法について主体的に考え、自己の望ましい生活習慣について見直し、改善策をワークシートにまとめる。	①	①	①	問答、観察 ワークシート Plickers
2	がん治療と共生	・外部講師の体験を通じたがん治療や緩和ケア、がん患者への理解と共生について説明や質問への回答を聞くことで、自己の体調の変化に気づき、健康に関心を持つことの大切さについて考えを深め、ワークシートにまとめる。	②	②	①	問答、観察 ワークシート

6 「1. がんの発生と予防」の指導（第1時）

(1) 目標

○がんの現状と種類、発生や要因について知り、予防の大切さについて考えを深めることで、生活習慣を見直し、改善するきっかけとすることができる。

(2) 展開

	指導内容・学習内容	生徒の活動	指導上の留意点【評価の観点】
導入 (5分)	<p>1. 始めの挨拶、出席確認、健康観察、学習用具確認</p> <p>2. 保健ニュース</p> <p>3. 前時の復習、本時の確認 *ワークシート配布</p>	<p>1. 元気に挨拶、返事をし、学習に向かう姿勢を作る。</p> <p>2. 身近な問題として考える。</p> <p>3. 学習内容の関連性を認識し、見通しを持つ。</p>	<p>1. 学習環境を整えるよう促し、健康状態の確認をする。</p> <p>2. 保健に関するタイムリーなニュースを紹介する。</p> <p>3. 前時の授業が想起されやすい問題を用意する。 観察【態①】</p>

展 開 (30 分)	目標① がんの現状と種類、発生や要因について知る。		
	4. がんのイメージ * 事前アンケートを提示	4. アンケート結果をクラス全体で共有することでイメージを多角的に深める。	4. 誤解したイメージもあるがここでは正さず、以後の展開のヒントにする。
	5. がんの現状と種類 * 若年世代に多いがん * がんに罹患した著名人	5. 教師の説明や著名人との関連付けを通してがんの現状と種類について理解する。	5. 説明口調になりすぎないように生徒の意見を引き出す。
	6. がんの発生と要因 * 漫画で「がん」解説 * 事前アンケートを提示 * 国立がん研究センター資料	6. がんの発生についてワークシートにまとめる。クラスの意見と国立がん研究センターの資料とを比較することで、要因について考えを深める。	6. 興味・関心を引き出すとともに理解しやすい素材を提示する。原因が不明の場合もあり、誰もががんになる可能性があることを伝える。
	目標② 予防の大切さについて考えを深める。		
	7. がんを予防するために * がんを防ぐための新12か条 * 映画予告編視聴 『はなちゃんのみそ汁』	7. 既習事項を活用しワークシートに取り組む。	7. 身近な例を挙げることで自分事と捉えやすくする。 一次予防に焦点を当て、検診の大切さにも触れる。
	目標③ 生活習慣を見直し、改善するきっかけとすることができる。		
	8. 現在の改善点と将来への見通し	8. 習得した知識を基に自分自身の生活習慣を分析する。	8. 具体例を示すことで柔軟な思考と分析を促す。 ワーク【思①】
ま と め (10 分)	9. 本時のまとめ * Pickers * 質疑応答	9. スクリーンに表示された質問に回答し、学習内容の振り返りをおこなう。	9. 知識面において重要な質問を精選する。正答状況を表示し振り返りの深化を図る。 Pickers【知①】
	10. 次時の予告 * がん治療と共生	10. 教師の説明に注目する。	10. 本時との関連を持たせる。
	11. 終わりの挨拶 * ワークシート提出、回収	11. 元気に挨拶をする。	11. 感謝の気持ちで閉じる。

※ 「Pickers」：学習評価支援アプリケーション

7 「2. がん治療と共生」の指導（第2時）

（1）目標

- 体験者の言葉に触れ、沖縄県の現状について知識を深めることで、がん検診の重要性に気付き、命の大切さについて考えを深める。

（2）展開

	指導内容・学習内容	生徒の活動	指導上の留意点【評価の観点】
導入 (5分)	1. 始めの挨拶、出席確認、健康観察、学習用具確認 *ワークシート配布 2. 前時の復習、本時の確認 3. 講師の紹介 ~外部講師による授業~	1. 元気に挨拶、返事をし、学習に向かう姿勢を作る。 2. 前時の学習を振り返る。 3. 学習内容の関連性を認識し、見通しを持つ。	1. 学習用具や健康状態を確認する。 2. 前時との関連付けを行う。 3. 講師の話に注視できる環境(姿勢を正す、私語はしない等)を整えるよう促す。 観察【態①】
展開 (35分)	目標① 体験者の言葉に触れ、沖縄県の現状について知識を深める。		
	4. 自身の容態について *下咽頭がん、人口咽頭 *がんの治療方法 5. 七つの質問 *再発、進行速度、生存率 *がん検診受診率	4. 体験者（講師）のスライドを見たり、説明を聞くことで容態や治療法について理解する。 5. 様々な種別ごとの受診率や沖縄県と国との受診率比較などを通して多角的に考える。	4. 体験者（講師）から情報を与えることで生徒の興味・関心を引き出す。 5. 沖縄県の現状を知ることによって、生徒にとって身近な課題であると捉えさせる。
	目標② がん検診の重要性に気付き、命の大切さについて考えを深める。		
	*世界長寿地域宣言 *五つの健康習慣 *六つ目の健康習慣 6. 質疑応答 *事前アンケートより	体験者（講師）の想いを受け止め、高校生時代から実践できることについて考えを深める。 6. 疑問に感じていた事項の解決を図る。	自分自身の体調の変化に気付き、健康に関心を持つことの大切さを考えさせる。 6. 代表生徒から外部講師へインタビュー形式で行う。
まとめ (10分)	7. 本時のまとめ *生徒の感想 *外部講師よりメッセージ 8. 次時の予告 9. 終わりの挨拶 *ワークシート提出、回収	7. 本時の学習内容を振り返り、感想や体験者へのメッセージなどワークシートをまとめる。 8. 教師の説明に注目する。 9. 元気に挨拶をする。	7. ワークの進捗状況を見て、何名かの生徒に発表を促す。 ワーク【思②】 8. 本時との関連を持たせる。 9. 感謝の気持ちで閉じる。 ワーク【知②】

8 使用教材・教具

- ・ワークシート ・筆記用具 ・PC ・プロジェクタ ・スクリーン ・Plickers カード